

4. 留守番機能を使う

留守録モードを利用する

夜間や休日にかかってきた電話に対し、相手の方の用件を録音することができます。

応答メッセージを設定する

留守録モードで留守録ボックスが応答するときに流す応答メッセージ（例えば「本日の業務は終了しました。ピー」という発信音の後に名前とご用件をどうぞ。ピー」）のほかに、あらかじめ録音しておいた応答メッセージを流すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-6	—	—

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■メニュー機能で設定するとき

1 メニューから<留守録メッセージ>を呼び出す

- ①  を押します。
- ② 「**5** システム機能設定」を選択し、 を押します。
- ③ 「**6** 応答メッセージ/IVR」を選択し、 を押します。
- ④ 「**2** 留守番用メッセージ設定」を選択し、 を押します。
- ⑤ 「**1** 留守録メッセージ」を選択し、 を押します。

```

<留守録メッセージ>
01 留守録BOX01
02 留守録BOX02
03 留守録BOX03
04 留守録BOX04
◀戻る▶決定
  
```

2 で設定を行う留守録ボックスを選択し、 を押す

```

<留守録メッセージ>
01 留守録BOX01
02 留守録BOX02
03 留守録BOX03
04 留守録BOX04
◀戻る▶決定
  
```

3 で設定を行うメッセージ番号(1～6)を選択し、 を押す

- 録音済のメッセージは、システム応答メッセージ番号(001～300)と「録音済」、未録音のメッセージはシステム応答メッセージ番号(001～300)と「未録音」を表示します。固定メッセージ1～3の場合は「固定1～固定3」を表示します。登録なしの場合は「登録なし」と表示します。

```

<留守録メッセージ>
留守録BOX01
1メッセージ1:001 録音済
2メッセージ2:002 未録音
3メッセージ3:003 未録音
◀戻る▶決定 再生▶
  
```

- 選択したメッセージが録音済の場合、 を押す前に  を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。

4 で設定したい番号を選択し、 を押す

- 番号を直接入力することもできます。設定番号とその機能は下記の通りです。
000：登録なし
001～300：システム応答メッセージ001～300
901～903：固定メッセージ1～固定メッセージ3
- 設定番号に対応した名称がディスプレイの4行目に表示されます。
- 選択したメッセージが録音済の場合、 を押す前に  を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。

```

<留守録メッセージ>
留守録BOX01
メッセージ1:001
留守録応答メッセージ001
■設定番号(3桁)入力
◀戻る▶決定 再生▶
  
```

5 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、 を押します。
-  を押すと操作3に戻り設定を繰り返すことができます。

```

<留守録メッセージ>
留守録BOX01
メッセージ1:001
留守録応答メッセージ001
■設定完了!
  終了 継続▶
  
```

補足説明

- 留守録用のシステム応答メッセージは留守録ボックス1つにつき6種類まで設定することができます。

初期設定では、以下の固定メッセージが設定されています。

メッセージ1：「本日の業務は終了しました。ピーッという発信音の後に名前とご用件をどうぞ。ピー」

メッセージ2：「本日は定休日です。ピーッという発信音の後に名前とご用件をどうぞ。ピー」

メッセージ3：「ただいま留守にしております。ピーッという発信音の後に名前とご用件をどうぞ。ピー」

メッセージ4～6は、初期値「登録なし」です。

※システム応答メッセージは、外線お待たせメッセージおよび転送電話の切断処理時の留守録応答メッセージや自動オペレータ（P5-78）や簡易IVR（P5-82）で自動応答時に流す音声案内など、システムで使用する応答メッセージとして使用することができます。留守録で使用しないメッセージ番号を使用してください。

- 留守録用のシステム応答メッセージの録音は、他のシステム応答メッセージの録音方法と同じです。「応答メッセージなどを録音する」（P7-20）をご覧ください。

ご注意

- メニュー機能で再生を行うとき、全てのボイスメモを使用中の場合は、エラーメッセージが表示されます。

⏮ を押すと前の画面に戻り、⏹ を押すと終了します。

＜留守録メッセージ＞
再生できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

留守録を使うとき

例として、留守切替操作で「留守録モード」を設定する方法を示します。

工事者設定	プログラブルキー	オプション
722	下記*参照	—

*留守切替 (981) または夜間切替00 (600) ~夜間切替48 (648) のいずれか、および留守録 (947)、メッセージ1 (701) ~メッセージ6 (706)、メッセージ切替 (707)、留守録モニタ (966) で必要なもの

■プログラブルキーで留守録をセットする

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1

留守切替 ボタンを押す

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。

7月10日 (金) AM10:10
NO.101
転送電話機
転送先①中島〇郎
着信音量

2

留守録 ボタン、メッセージ() ボタンの順に押す

- メッセージ() ボタンは応答メッセージを切り替えたいときに押します。
- 留守録 ランプが点灯します。
- 選択したメッセージ() ランプが点灯します。
- メッセージ1 ~メッセージ6は設定した固定メッセージまたは録音したシステム応答メッセージ (P4-15) です。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。

7月10日 (金) AM10:10
NO.101
留守録機
録音件数 000件
残時間 001時間55分
着信音量

補足説明

- 操作2で、メッセージ() ボタンの代わりにメッセージ切替 ボタンを押して、メッセージ番号を順次切り替えることができます。例えば、現在の設定がメッセージ1の場合、メッセージ切替 ボタンを押すたびにメッセージ2→メッセージ3→…メッセージ6→メッセージ1の順に切り替わります。この場合、メッセージ() ボタンが設定されていると、該当するメッセージ() ランプも点灯します。

■メニュー機能で留守録モードに切り替える

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1

メニューから<留守モード選択>を呼び出す

- ① を押します。
- ② 「5 拡張機能設定」を選択し、 を押します。
- ③ 「5 留守番機能」を選択し、 を押します。
- ④ 「1 留守モード選択」を選択し、 を押します。

<留守モード選択>
01 転送電話
02 追っかけ転送
03 ツイン転送
04 不応答後転送
◀戻る▶決定

2

で「07 留守録」を選択し、 を押す

<留守モード選択>
04 不応答後転送
05 不応答後ツイン転送
06 不応答後ツイン転送
07 留守録
◀戻る▶決定

3

メッセージ番号 (1~6) を入力し、 を押す

- メッセージ1 ~メッセージ6は設定した固定メッセージまたは録音したシステム応答メッセージ (P4-15) です。
- を押す前は、メッセージ番号の入力をやり直すことができます。

<留守録>
メッセージ番号: 2
■メッセージ番号1~6入力
◀戻る▶決定

4

登録完了画面が表示される

- を押すと終了します。

<留守モード選択>
留守録
メッセージ 2
■登録完了!
終了

■留守録セット中の動作

1 電話がかかってくる

- 約10秒後に自動応答して、応答メッセージが相手の方に流れます。
- 録音開始音「ピー」のあと、相手の方の用件が録音されます。

2 相手の方が電話を切る

- 録音終了となり、ディスプレイの録音件数が1件加算されます。
- [再生()]ランプは点滅し、[着信/メッセージ]ランプは点灯します。

7月10日(金) AM10:10
NO.101
留守録オン メッセージ 1
録音件数 001件
残時間 001時間54分
着信音量 

補足説明

- 工事者設定により、相手方の用件が録音されたときに、[着信/メッセージ]ランプを点灯しないようにも設定できます。[工事者設定722-3]

■留守録の内容をモニタする・電話に出る（留守録モニタ）

留守録応答後、[留守録モニタ]ボタンを押してある指定電話機のスピーカから、相手の方の声を聞くことができます。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 留守録セット中に ボタンを押す

- [留守録モニタ]ランプが点灯します。
- モード切替用電話機のみ操作できます。

2 電話がかかってくる

- 自動応答後、電話機のスピーカから応答メッセージが流れ、相手の方の声が聞こえます。

3 電話に出るときは、留守録を行っている / ボタンを押し、ハンドセットをとる

- モード切替用電話機以外でも、電話に出ることができます。
- 留守録中の[外線]/[DILIN]ランプ（赤）は定期的に2回消えます。
- 応答メッセージ再生中でも電話に出ることができます。

ご注意

- 会議通話回路を全て使用中の場合、応答メッセージは聞こえません。

補足説明

- 留守録ボックスはテナントごとに割り当てられます。
・テナント01～テナント48…留守録ボックス01～留守録ボックス48
- 用件1件あたりの録音時間は約1分です。
※録音時間は、1分～180分、1分単位で変更することもできます。[工事者設定722]
- システム全体での最大録音時間は、基本状態で約5時間[S]／約20時間[LA][LB]（オプションET-VMSDC500使用時は約500時間）です。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- 各留守録ボックスの録音件数は最大64件です。1件～255件または999件（1～999件（7-2版～））に変更することもできます。（録音件数にはゴミ箱内のメッセージも含まれます（3-1版～））[工事者設定722]
- 録音時間に空きがなくなると、録音を終了し電話が切れます。
- [留守切替] ボタンの代わりに[夜間切替()] ボタンを押すこともできます。
- 留守録を解除するときは、セットするときに押した[留守切替] ボタンまたは[夜間切替()] ボタンを押します。解除されるとランプが消えます。
- 留守録中の[外線] ボタンを押してハンドセットをとると、留守録を中止して、相手の方との通話に切り替わります。
- 留守録モニタ後、電話に出た通話は留守録音されません。

ご注意

- メニュー機能で留守録モードに切り替えるだけでは、留守録モードをセットできません。[留守切替] ボタンや[夜間切替()] ボタンの操作、またはメニュー機能で留守切替や夜間切替を行ってください。
- ボイスメモが全て他の用途で使用中に電話がかかってきた場合は、ボイスメモが空くまで応答しません。
- 録音エリアに空きがなくなると、電話をかけてきた方には「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直してください。」という応答専用メッセージを流し、電話を切ります。（用件は録音できません。また、応答メッセージは下記固定メッセージを指定できます。）
・固定メッセージ1、録音メッセージ指定時「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直してください。」
・固定メッセージ2指定時「本日は定休日です。恐れ入りますが、改めておかけ直してください。」
・固定メッセージ3指定時「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、改めておかけ直してください。」

知っていると便利なこと

- 自動応答するまでの時間は、0秒または、3～30秒、3秒単位で変更することもできます。[工事者設定722-2] メニュー機能で変更する場合は、「[5] システム機能設定」→「[5] 留守番機能」→「[5] 留守録応答時間」の順に選択してください。
- 留守録をセットするとき、再生済のメッセージを自動消去するか消去しないかを選択できます。初期値は、「消去しない」に設定されています。消去されるのは、留守録をセットした留守録ボックスのみです。ただし、ボイスメモを使用しているとき（用件録音中や用件再生中）に留守録をセットした場合は、自動消去できない場合があります。また、[夜間切替00] ボタンで留守録をセットした場合は、設定に関係なく自動消去できません。[工事者設定722-1]
- 外線お待たせメッセージの切断処理にボイスメモを利用することができます。切断処理時の留守録応答メッセージは固定メッセージ（「ただいま大変電話が混み合っております。ピーッという発信音の後にお名前とご用件をどうぞ。ピー」）か、録音したメッセージ（P7-20）かを工事者設定により選択します。[工事者設定219]
- 転送電話の切断処理にボイスメモを利用することができます。切断処理時の留守録応答メッセージは固定メッセージ（「ただいま不在です。ピーッという発信音の後にお名前とご用件をどうぞ。ピー」）か、録音したメッセージ（P7-20）かを工事者設定により選択します。[工事者設定401-1]
- 不在転送＜外線への転送＞の切断処理にボイスメモを利用することができます。切断処理時の留守録応答メッセージは、P5-76をご覧ください。
- 専用の音声ファイル管理アプリケーションを使用して、留守録ボックスおよび内線ボックスに録音された用件メッセージおよび通話録音をファイルとしてパソコンで管理することができます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
- 外線お待たせメッセージ（P5-27）の利用時に、[お待たせ()] ボタンを押すと、留守録（P4-17）が動作するように設定できます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

録音された用件を聞く

新規の用件が録音されていると、**再生()**ボタンが点滅、**着信／メッセージ**ランプが点灯します。**再生()**ボタンを使って、録音された用件を聞くことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-3)	同報グループ01 (501) ~ 同報グループ48 (548)、 再生01 (551) ~再生48 (598)、 再生速度 (876)、戻り (877)、送り (878)、 消去 (879)、停止 (880) 再生順(古→新) (872) (3-1版~) 再生順(新→古) (873) (3-1版~) 一時停止 (923) (3-1版~)	—

■プログラマブルキーで用件を再生する

1 ハンドセットを置いたまま **再生()** ボタンを押す

(**スピーカー**)ランプも消えていること)

- 音声案内「新しいメッセージが〇〇件あります。」が流れ、未再生の古い録音内容から再生されます。
※未再生のメッセージがない場合、音声案内「メッセージが〇〇件あります。」が再生されます。
- 録音内容の最後（または最初 (7-2版~)）に、タイムスタンプ「●●月、▲▲日、○曜日、午前（午後）△△時□□分のメッセージです。」が再生されます。
- 再生中の用件が録音された日時と相手の方の電話番号または名前（共通電話帳に登録時）が表示されます。
トータル件数は、各留守録ボックスに録音されている件数を表示します。（トータル5件の例）
なお、メッセージ再生初期画面が「一覧表示あり」に設定されている場合は、一覧表の表示画面となります。詳細は「一覧表から録音された用件を聞く」をご覧ください。⇒P4-24

<留守録再生> 001/005	
10月11日(金) AM 8:10	
中村○郎	
1 再生	2 戻り
4 消去	5 停止
7 <<	8 >>
9 >1.4倍速	

録音日時
電話番号または名前
操作ガイダンス

- ゴミ箱内の用件を再生する場合は、**留守録ゴミ箱()**ボタン（P4-39）を押してください。(3-1版~)

2 用件の再生中、希望によりサービスボタンまたはダイヤルボタンを押す

下記のサービスボタンが使用できます。

再生() / **1** ボタン…再生中の録音内容を最初から再生する。(**再生()** ボタンは、操作1で押したボタンに限ります。)

ゴミ箱の再生中は、再生中の用件を留守録BOXに移動（復元）します (**再生()** のみ)。(3-1版~)

戻り / **2** ボタン…1つ前の録音内容を最初から再生する。

送り / **3** ボタン…次の録音内容を最初から再生する。

消去 / **4** ボタン…録音内容を消去する。(用件メッセージの再生を停止し、音声案内が流れますので、それに従って操作してください)

ゴミ箱機能を有効にしている場合 ((3-1版~)) は留守録ゴミ箱に移動されます。

ゴミ箱の再生中は、再生中の用件を消去します。

停止 / **5** ボタン…用件の再生を停止する。

6 ボタン…用件を保護（消去禁止）／保護解除する。

6 を押すたびに保護と保護解除が交互に切り替わります。(ゴミ箱内の用件は保護できない (3-1版~))

7 ボタン…用件の再生を数秒巻き戻しする。

8 ボタン…用件の再生を数秒早送りする。

再生速度 / **9** ボタン…押すたびに標準速度 → 1.4倍速 → 2倍速 → 1.4倍速 → 標準速度で再生を繰り返す。

同報グループ()…再生中の用件を指定した同報グループ (01~48) に転送する。(ゴミ箱内の用件は転送できない (3-1版~))

一時停止…用件の再生を一時停止する。

一時停止中は、再生を再開する。

(3-1版~)

留守録ゴミ箱()…留守録BOXの再生中は、再生中の用件をゴミ箱に移動する。ゴミ箱の再生中は、再生中の用件を最初から再生する。(3-1版~)

補足説明

- 操作2でシステム応答メッセージがすでに録音してある番号を選択した場合、を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。
- 操作4で「消去」を選択すると、対象のシステム応答メッセージ名称を消去できます。

ご注意

- 同時に複数の電話機で登録することはできません。他の電話機で使用中のときは下記の表示となります。
- を押すと操作1の④に戻り、を押すと終了します。

<システム応答メッセージ登録>

■他の電話機で編集
中です！
◀戻る 終了

システム応答メッセージを録音する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-6)	—	—

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■特番を押して録音する

1 ハンドセットをとる

- ・内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 システム応答メッセージ録音／確認番号③⑦⑨*を押す

- ・保留音が聞こえます。

*番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに $\#$ を押してください。

3 システム応答メッセージ番号3桁（①①①～③①①）を押す

- ・音声案内「録音は1、再生は＊（アスタリスク）、消去は0をどうぞ」が流れます。

4 ①を押す

- ・「ピー」音が聞こえたら録音開始になりますので、ハンドセットに向かって話します。
録音時間が終了すると、話中音（ツーツーツー）が聞こえます。（1件あたりの最大録音時間は1分です。）

■メニュー機能で録音する

1 メニューから<システム応答メッセージ登録>を呼び出す

①  を押します。② 「**5** システム機能設定」を選択し、 を押します。③ 「**6** 応答メッセージ

/IVR」を選択し、

 を押します。④ 「**1** システム応答メッ

ジ登録」を選択し、

 を押します。<システム応答メッセージ登録>
NO. 005■項番直接入力可
◀戻る▶決定2 新規録音時は を押す

- メッセージを録音していないシステム応答メッセージ番号が表示されます。

<システム応答メッセージ登録>
NO. 005■項番直接入力可
◀戻る▶決定

- 登録済みの番号を変更するときは、番号(001~300)を直接入力するか  で選択してください。

- すでに登録済みの場合は、登録してある名称が表示されます。

3 で「**2**メッセージ録音」を選択し、 を押す<システム応答メッセージ登録>
1 名称登録
2 メッセージ録音

◀戻る▶決定

4 <システム応答メッセージ録音>の機能選択画面となるので、 で「**1**録音」を選択し、 を押す<システム応答メッセージ録音>
1 録音
2 消去

◀戻る▶決定

5 ハンドセットを上げて録音開始音「ピー」を待つ

<システム応答メッセージ録音>
NO. 005 録音
留守録応答メッセージ 005
■ハンドセットを上げ、
ピーの後に録音開始
◀戻る6 録音開始音「ピー」が聞こえたら録音を開始し、録音を完了したら、1秒程度時間をあけてから を押してハンドセットを置く

-  を押さずにハンドセットを置いて録音完了となります。

<システム応答メッセージ録音>
NO. 005 録音
留守録応答メッセージ 005■完了時 **完了** を押す
完了

- 録音時間に空きがなく(1件あたりの最大録音時間は初期値1分、またはボイスメモ全体の録音時間に空きがなくなったとき)なっても、録音完了となります。

7 録音完了画面が表示される

- 終了する場合は、 を押します。
-  を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

<システム応答メッセージ録音>
NO. 005 録音
留守録応答メッセージ 005■録音完了!
終了 **継続**

■特番を押して録音内容を確認する

1 ハンドセットをとる

- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 システム応答メッセージ録音／確認番号③⑦⑨*を押す

- 保留音が聞こえます。

*番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに[#]を押してください。

3 システム応答メッセージ番号3桁（③⑦⑨～③⑦⑦）を押す

- 音声案内「録音は1、再生は＊（アスタリスク）、消去は0をどうぞ」が流れます。

4 (＊)を押す

- 保留音が止まり、メッセージがハンドセットから聞こえます。（2回繰り返す）
- 終了すると、話中音（ツーツー…）が聞こえます。

■メニュー機能で録音内容を確認する

1 メニューから<システム応答メッセージ登録>を呼び出す

- ① (●)を押します。
- ② 「**5** システム機能設定」を選択し、(●)を押します。
- ③ 「**6** 応答メッセージ/IVR」を選択し、(●)を押します。
- ④ 「**1** システム応答メッセージ登録」を選択し、(●)を押します。

<システム応答メッセージ登録>
NO. 006

■項番直接入力可
◀戻る▶決定▶

2 (●)で再生を行うシステム応答メッセージ番号（001～300）を選択し、(●)を押す

- 番号(001～300)を直接入力することもできます。

- すでに録音済みの場合は、ディスプレイの6行目に[再生]が表示されます。

- すでに名称登録済みの場合は、登録してある名称が表示されます。

<システム応答メッセージ登録>
NO. 005
留守録応答メッセージ 005

■項番直接入力可
◀戻る▶決定▶再生▶

3 メッセージが2回再生される

<システム応答メッセージ登録>
NO. 005 再生
留守録応答メッセージ 005

◀戻る▶

4 再生完了画面が表示される

- 終了する場合は、(●)を押します。

- (●)を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

<システム応答メッセージ登録>
NO. 005 再生
留守録応答メッセージ 005

■再生完了!
終了▶継続▶

■録音したメッセージを使う

ボイスメモに録音したメッセージは下記の用途で使えます。

- 外線お待たせメッセージ*
 - ダイレクトインダイヤル（DID）の一次応答メッセージ
 - 留守番機能（留守録モード）の応答メッセージ*
 - 留守番機能（応答専用モード）の応答メッセージ*
 - 留守番機能（発信者選択モード）の応答メッセージ*
 - 留守番機能（転送電話）の転送／切断メッセージ*
 - 不在転送（外線への転送）の転送／切断メッセージ*
 - 非通知着信拒否の送出メッセージ*
 - 発番号識別着信拒否の送出メッセージ*
 - センサ着信時の送出メッセージ*
 - センサ着信に回答時の送出メッセージ*
 - 外線お待たせメッセージの切断メッセージ*
 - 外線保留音／着信音
 - リモコン操作時の設定完了アナウンス*
 - 圏外トーカー*
 - ACD着信のお待たせメッセージと切断メッセージ*
 - 自動オペレータの応答メッセージ*
 - 簡易IVRの応答メッセージ*
 - 通話録音アナウンス*
 - チャイムタイマの音源
- *固定メッセージを使用することもできます。

補足説明

- メッセージ一つあたりの最大録音時間は1分（初期値）で、変更することも可能です。[工事者設定722-6]
- 特番を押して録音内容を確認するときは、スピーカから聞くこともできます。操作1でハンドセットをとる代わりに[内線]ボタンか[スピーカ]ボタンを押してください。
- 「■特番を押して録音する」（P7-21）または「■特番を押して録音内容を確認する」（P7-23）の操作4で[○]をダイヤルすると、対象のシステム応答メッセージの録音内容が消去され、音声案内「メッセージを消去しました」が聞こえます。その後、話中音（ツーツーツー）が聞こえます。
- 「■メニュー機能で録音する」（P7-22）の操作4で「2 消去」を選択すると、対象のシステム応答メッセージの録音内容を消去できます。

ご注意

- 録音後は、録音内容を確認してください。
- 留守番機能の留守録モードで使う[メッセージ()]ボタンと使用するシステム応答メッセージとの対応は、メニュー機能で設定できます。詳細はP4-15をご覧ください。
- 留守番機能の応答専用モード（P4-43）、発信者選択モード（P4-48）で使う[メッセージ()]ボタンと使用するシステム応答メッセージとの対応は、工事者設定が必要です。[工事者設定401-3、401-4]
- メッセージの録音や再生、消去をするときに次のエラー画面が表示されることがあります。

＜システム応答メッセージ 録音＞
録音できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

＜システム応答メッセージ 登録＞
再生できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

＜応答メッセージ 録音消去＞
消去できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

ボイスメモを全回線使用している状態です。☎を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから録音／再生／消去してください。

＜システム応答メッセージ 録音＞
録音できません。
(録音時間/件数が一杯
またはメッセージ使用中)
◀戻る 終了

ボイスメモに空き容量がない状態です。不要なメッセージを消去して録音してください。

＜システム応答メッセージ 録音＞
録音できません。
(内線回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

＜システム応答メッセージ 登録＞
再生できません。
(内線回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

内線通話回路に空きがない状態です。☎を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから録音／再生してください。

＜応答メッセージ 録音消去＞
消去できません。
(メッセージ使用中)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

メッセージを使用中です。☎を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから消去してください。